

長 「交通栄誉章緑十字金章」受章報告 きにわたり、交通安全活動に尽力

桑折地区交通安全協会長の亀岡彦久さんが1月22日、交通安全国民運動中央大会（東京都）で交通栄誉章緑十字金章を受章。その報告のため2月4日、役場を訪れました。

亀岡さんは、昭和57年から約37年間、地域の皆さんへ交通安全の意義を理解してもらうため、多くの活動に尽力されました。「自分一人の賞ではなく、桑折町と国見町の皆さんの応援のおかげ。来年度、後継者にバトンを繋ごうとしていた直前、最後の最後に素晴らしい賞をいただき、大変うれしく思う」と受章の喜びを語りました。



▲笑顔を見せる亀岡さん（写真左）と、長年の交通安全推進活動の功績をたたえる高橋町長



▲震災後からそば文化復活のために尽力された「半田銀山そばの会」の皆さん

町 「豊かなむらづくり顕彰事業」受賞報告 内初の「むらづくり部門」受賞

半田銀山そばの会協議会が1月30日、令和元年度豊かなむらづくり顕彰事業表彰式（杉妻会館、福島市）で「むらづくり部門」の県内優秀団体に選出。その報告のため2月3日、役場を訪れました。

当会は、震災後の平成24年から、県オリジナル品種の「会津のかおり」を遊休農地で栽培し、「銀そば」ブランドを販売。そば打ちなどの体験イベントなどを通して、地域の皆さんにそばに親しむ文化を提供し、そばの普及に努めています。氏家浩会長は「『銀そば』で桑折町の農地を守り、そば文化を咲かせたい」と今後の活動へ期待を込めました。

ア 福島県国際農友会海外派遣研修事業 激励金贈呈式 アメリカの栽培技術を学ぶ

町内で農業を営み、福島県国際農友会海外派遣研修に参加した平井康夫さんに2月3日、町から激励金が贈られました。

本事業は、2月10日から16日までの約一週間、主にロサンゼルスで、現地の農家や市場を視察し、アメリカの栽培技術や販売の仕方などを学習・体験できるプログラムです。

贈呈式にて、平井さんは「父の後継ぎとして、約1年前に関東から桑折町にUターンし、やっと仕事の流れが分かってきたところ。この事業を通して、さらに農業経営の理解を深めたい」と抱負を語りました。



▲「農業従事者のリーダーとしての活躍を願う」と平井さん（写真左）を激励する高橋町長



▲真心こもった手作りガーゼを受け取り、「大切に使います」と話す松原志津佳さん

よ 創生婦人会より手作りガーゼの寄附 うこそ赤ちゃん！子育てママを応援

創生婦人会の「出会い・子育て委員会」が1月31日、地域の宝である赤ちゃんのためにと、町に対して約100枚の手作りガーゼを寄附しました。会員一人一人が心をこめて作るガーゼは、さまざまな柄があり、縁に色鮮やかなレースが施されています。

このガーゼは、「やすらぎ園」へ母子手帳を受け取りに来た保護者の皆さんに配られ、「手作りのあたたかみを感じられてうれしい」「子育ての必需品なので助かる」と大好評。川名静子会長は「会員が心を込めて作った。少しでもお母さん方の役に立てたらうれしい」と話しました。